

藤樹記念館通信 ⑩

令和二年度 本館主催事業

「了佐てらこや小学校」

参与 武田 基裕

例年、小学校の夏休み期間の八月上旬に、中江藤樹記念館主催事業として「了佐てらこや小学校」を開催しています。早いものでこれまでに十回以上開催し、例年二十名〜三十名ほどの市内の小學生上学年（四年〜六年）の子どもたちが参加してくれています。

昨年の秋時点での計画では例年通り八月に五日間の日程で開催する予定でしたが、想像しえない、想定外の今回のコロナ禍により、開催自体が危ぶまれました。しかし、こんな時こそ、安全安心最優先の体制をとり、規模・内容等を工夫し感染症拡大防止に配慮しながら本事業を楽し



みにしている子どもたちのために開催すること自体に意義があると、指導者の西川守彦先生、澤井千晶先生、井戸菊枝先生、本館職員で共通理解し、開催に踏み切りました。

しかし、正直なところ、市内小学校の夏休み期間はたったの十六日間であり、その理由となるコロナ禍も感染者数が募集期間の夏前に急増していたこともあり、申し込んでくれる子どもたちがいるのか不安な気持ちで一杯でした。ところがそんな心配は全くの杞憂となり、開催要項と申し込み用紙が学校にとどくやいなや直ぐに良き反応?があり、結局、市内八小学校から二十七名もの小學生が申し込んでくれました。指導者の先生方、職員とも先ずは一安心でした。

事前に指導者の先生方と入念な打ち合わせを行い、コロナ禍に負けない予防策も万全に整え、事業当日の八月七日を迎えました。今年は期日を少なくするとともに日程も短くし、真に「書道」に親しみ個人作品及び共同作品を仕上げることに集中しました。毎年のお楽しみの科学体験や工作の時間がなかったことで少々物足りなげな子どもがいたことも事実ですが、そこは賢い子どもたちです。何一つ不満を漏らさずしっかりとした気持ちで「書く」ことに集中し、指導者の先生方のご指導の下、立派に作品を書き上げることができ



ました。参加したすべての子ども満足そうな笑顔、充実した笑顔、安堵感漂う表情が印象的でした。指導者の先生方、職員一同も「本当にやってよかった」、「やっぱり子どもたちの笑顔が一番」、「笑顔は鎧（かすがい）」等々、終わってからの意見交換でも成就感一杯でした。

今のようなコロナ禍の状況がいつまで継続するかは誰にもわかりませんが、「ウィズコロナの時代」に実施できる事業の在り方、参加者が応募しやすい事業の在り方を、安全安心最優先にしながら探っていくことが大切となってくるでしょう。形式にとらわれずに「参加してよかった」と全ての子どもたちが感じてくれるような「了佐てらこや小学校」に育てていくことを全職員で誓い合い、今夏の本館の主催事業を無事に終了することができました。

賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます。

- ウエストレイクホテル可以登楼
- 大津公証会 白髭博文
- 株式会社 大山建設
- 川島酒造 株式会社
- 株式会社 Grow's
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 宏和商事
- 税理士法人 小畑会計事務所
- 株式会社 澤村
- 有限会社 白浜荘
- ソエダ 株式会社
- 田中マネジメント事務所
- 株式会社 TADコーポレーション
- 鉄屋商事 株式会社
- 寺子屋まなごし童心塾
- 株式会社 戸井薬局
- とも栄 藤樹街道本店
- 中村印刷 株式会社
- 株式会社 中村測量設計
- ニツケイ工業 株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 保木機料 株式会社
- 有限会社 綿庄食品店

(五十音順)

お詫び

前号での「賛助会員一覧」で、「株式会社 澤村」様が欠落していました。

謹んでお詫びいたします。